

カトリック山手教会月報

やまて



編集・発行 カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地
☎ (045) 641-0735 <http://catholicyamate.org/>

第641号 2023年7月9日

堅信式・祝賀会ならびに西村師送別会

5月28日(日) <聖霊降臨の祝日>11時30分ミサの中で、ラファエル梅村昌弘司教主司式による堅信式が執り行われ、日本人5人、外国籍1人がお恵みにあずかりました。教会から受堅者へお渡しした記念品は、掛けるタイプの十字架でした。

祭儀後にコロナ禍で2020年から中止されていた祝賀会とフィリピンに研修に行かれる西村英樹師の送別会が教会ホールで開催されました。会場には軽食と飲み物が用意され、久しぶりのパーティに多くの信徒が参加しました。司教館からは梅村司教、教区副事務局長の谷脇慎太郎師、山手教会からは鈴木真主任司祭、ダリル助任司祭、西村助任司祭、また4月の人事異動で磯子教会へ協力司祭として赴任され、山手教会の司祭・信徒館で生活されている内藤聡師が参加されました。

梅村司教説教(要旨)

きょうは聖霊降臨の日を迎え、このミサをささげています。復活節をもってこの聖霊降臨を祝うために、わたしたちは準備をしてきました。復活節は、まさに主の復活とともに祝う季節でありますけれども、同時に聖霊降臨を迎えるための準備の季節でもあります。そして、まさに、きょう、その準備をしたうえで聖霊降臨の日を迎えた。第2バチカン公会議を終え、今日の典礼が行われるようになったとき、同時にパウロ6世教皇は堅信式をもって第2の

聖霊降臨と位置付けられました。きょうは6人が堅信の秘跡を受けられます。聖霊降臨の日に堅信式が行われることは、とても意義あることだと思います。

使徒たちは、聖霊を受けて宣教のわざに励むようになり、さまざまなところに新たな教会がきざかれています。その弟子たちも突然、聖霊降臨という不思議な出来事を通して宣教に励むようになったのかというと、そうでもないように思います。特に復活節を通して、わたしたちは復活なされたイエスさまが、たびたび弟子にご出現になったということは文章を通して耳にしていたわけですが、受難、十字架上の苦しみのときに弟子たちは皆、わが身かわいさに裏切りました。しかし、復活なされたイエスさまは、そのことを一度もとがめられたことはありませんでした。わたしたちは福音を通してそのことを理解しています。そのゆるしを通して弟子たちは神さまの大きな愛に出会い、その愛を通して弟子たちは大きく変えられた。そして、この聖霊降臨を迎えて聖霊の働きを受け、たくましい宣教者に変えられていったということです。わたしたちも、そのためにイエス・キリストを通して神の愛に出会うことができたいと思います。弟子たちは、自分第一として生きる生き方から他者のために生きる生き方に変えられていった。

わたしたちは主に召されたものとして、神さまの恐れ多きゆるしをもって、イエス・キリストを通して示された神の愛を示し、人々を救うことができたいと思います。

受堅者は次の方々です。

敬称略・順不同

氏名	霊名
Leira Yumang (レイラ ユマン)	Cecilia
市川貴絵	マリア
湯川涼子	セシリア
中川愛美	セシリア
石川弥吉	ステファノ
間部日代利	セシリア・マリア

受堅者からは…

- ・洗礼と堅信を受けることができてうれしいです。
- ・イエスさまに一步近づいた気がします。
- ・知らない人と話すことががてなのですが、きょう一緒に堅信を受けた人と楽しく話すことができるようになり、うれしいです。



司教・司祭団による個別の按手



司教・司祭団による祭壇上での按手



受堅代表者による奉納



塗油



自己紹介



西村師の挨拶



司教・司祭団とともに



乾杯！



楽しそうな梅村司教



談笑する西村師

(編集部 土方芳人)

「よろしくお願ひします」

マキシミリアノ・マリア・コルベ 内藤 聡



山手教会の皆様はじめまして。
この4月から、山手教会に住んでいる内藤聡と申します。

任命は磯子教会の協力司祭ですが西村神父様と祖父江神父様が、それぞれフィリピンとローマに行かれて、磯子教会と山手教会がどちらも大変ということから、山手教会の司祭館に住みながら、こちらでもミサやその他のことをお手伝いさせていただいています。

何度か主日ミサの中で自己紹介をし、お会いした方もいると思いますが、改めてこの場を借りてご挨拶をさせていただきます。

私は山手教会と同じ神奈川第3地区の末吉町教会出身で、山手教会にも助祭の時に奉仕をさせていただきましたので、また司祭として皆さんと会うことができ大変うれしく思っています。

今年で司祭叙階9年目を迎えました。まだまだ司祭として学んだり、働いていかなければと感じています。その中で、教会が変われば雰囲気や状況というのは違うので、慣れるまで大変ではありますが、これからも謙虚に奉仕者として皆さんに仕えていくことができるように頑張りたいと思います。

私も山手教会で何かあれば喜んで協力していきたいですし、皆さんのために少しでも力になればと思っています。これから、どうぞよろしくお願ひいたします。

ICCの初聖体

(ファースト・ホーリー・コミュニオン)

6月11日の英語ミサのときに、聖堂でインターナショナル・コミュニティの子ども3人は、初めてご聖体をいただきました。子どもたちの名前は、ジャッキー、マリーオセアヌとエレアノルで、女の子3人でした。出身地はフィリピン、コンゴとフランスでした。

ほぼ9か月間にかけて日曜学校で勉強しました。皆、若いのに熱心で、イエスさまのことやごミサや

神さまの掟に深い興味を示していました。

ミサの中で子どもたちは、聖母マリアの祭壇にお花をささげ、ろうソクを灯し、聖歌を歌って初聖体の証明書をいただきました。ダリル神父は、お話の中でキリストのご聖体をいただく重要さを説明し、これから毎週ごミサに来て新たにイエスの体をいただくように勧めました。

ミサの後にコーヒーソーシャルがあったので、参加者は、皆、教会ホールに集まり、初聖体拝領者を祝い、子どもたちの家族と先生たちは、お互いに楽しく、いろいろな話ことができました。皆さんにとって、忘れられないイベントとなったことでしょう。

ダリル神父は、教会学校の先生たちにお礼を言いました。子どもたちに教えるのは、決して簡単な仕事ではありません。特に、今回の子どもたちの中の2人は母国語がフランス語でした。1人は、クラスの最初のころは全く英語ができませんでした。ICCの中で教会学校は大変重要な一つの役割です。子どもたちに将来のために宗教の基礎を教え、さらに家族と先生、そして、コミュニティ全体の責任で一つの絆をつくるもとなります。どんなに難しくても子どもを教会学校に受け入れます。

教えることを手伝いたい信徒も大歓迎です。



初聖体証明書をいただいてダリル師とともに

(文：ICC Lalaine 撮影：編集部 土方芳人)

※Lalaineさんの英語の文章をICC代表のピエールさんに日本語に翻訳していただきました。(編集部)

新受洗者・転入者・改宗者歓迎会開催

6月18日(日)午後1時から2時頃まで新型コロナウイルス感染症対策のため中断していた首題の歓迎会が、教会委員会主催により教会ホールで開催されました。

参加者は2020年度から2023年度までの対象者で、51人でした。教会側からは鈴木真主任司祭、ダリル助任司祭、教会委員会メンバーおよび各会代表者でした。

会場では軽食と飲料が用意され、司会は教会委員会副委員長兼総務・情報システム担当の宮裕一氏が担当しました。会合は①宮氏による開会、歓迎会の趣旨説明②鈴木師による祈りと話③ダリル師の話④小倉教会委員長による山手教会全体の話と教会委員会メンバーの紹介⑤財務担当の佐藤康夫氏による「月定献金」について⑥横浜教区一粒会常任本部委員会の八木寿美子氏による「一粒会の目的と活動」について⑦各組織代表者による組織紹介—の順で進められました。その後、質疑応答の時間をとり、鈴木師による総括と「終わりの祈り」で終了しました。



鈴木師の話を聴く参加者

(編集部 土方芳人)

スモールクワイア・コンサートを開催

6月4日、ヨゼフ会・ロザリオ会・福祉委員会共催で、イエスのカリタス修道女会のシスターの聖歌隊「スモールクワイア」をお招きし、聖堂チャリティ

コンサートが行われました。

当日のミサは「子どもとともに、ささげるミサ」で、総勢15人のシスターたちも一緒に参加されました。コンサートはミサ後の13時より開始、約1時間13曲が歌われました。今回は「いのちと平和」をテーマにした曲が多く、曲間でも指揮者のSr.峯より「世界中の戦争を早く終わらせてほしい」という言葉が何度も出てきたのが印象的でした。アンコールでは6曲目に歌われた「私をお使いください」(詞:マザーテレサの祈り 曲:上村幸一郎)を教会学校の子どもたちもステージに立って一緒に歌いました。心温まるひとときを共有させていただいたスモールクワイアのシスターたちには、心より感謝申し上げます。

<当日の演奏曲目>

- ①神様といつも一緒 ②アベ・マリス・ステラ
③聖ヨゼフ賛歌 ④あなたの平和の ⑤La vera gioia (喜びは平和のうちに) ⑥私をお使いください
⑦Nella Fantasia ⑧土の器 ⑨祝福の歌
⑩アーメンハレルヤ ⑪いのち ⑫Our Common Home (共に暮らす家をつくろう) ⑬私をお使いください



教会学校の子どもたちとともに



聖堂に美しく響くシスターの歌

(文:ヨゼフ会 会長 岡崎芳浩)

撮影:編集部 田中麻子)

ICCピクニック



5月28日の日曜日にICCピクニックが行われました。コロナパンデミック以前、毎年5月末に公園などに30～40人が集まって、家で作ったおいしいものをシェアして楽しんでいました。

昔、ポップ・メーヤーさんが健在だったときには、彼が利用していたノースピア基地の庭を使用させていただきました。その後、何年間は根岸公園を使い、コロナ禍前はブラザーミシエルのシャビエルハウスで行われ、コロナ禍では一旦中止になりました。去年、屋内の行事はまだ不可能でしたのでピクニックを再開し、2回とも山下公園で開催しました。あの時は、お天気の面でいろいろな問題(濡れたり、延期になったり)がありましたが、それでも皆は、もう一度会えたことに大変喜びました。

今年はお天気に恵まれましたが、ほかの問題が発生しました。山下公園で同じ5月28日に横浜フェスタが開催されていました。大変混んでいて、もしかしたら座る場所がないのではという心配をしました。最終的にブルーシートを敷くところを木の下に見つけて、短いお祈りの後に持ってきた食べ物と飲み物をシェアしました。

この日曜日は山手教会で堅信式でしたので、堅信を受けた一人と一緒に11時30分のミサに参加した信徒たちのために、ピクニックの開始時間を12時30分にと少し遅らせました。

海外への旅費がとても高くなったので、飛行機に乗らなくても海外の雰囲気を試してみませんか? 次のピクニックは来年になりますが、今度の9～10月にウエルカム・ポットラックパーティがあり、そ

の後に12月の初めにクリスマス・キャロル・コンサートを開催します。外国人同士だけではなくて、山手教会信徒の皆さんも参加いただければ幸いです。

(ICC代表 Pierre SEVAISTRE)

※日本語の原稿をいただきました(編集部)

ロザリオ会便り

少しずつコロナ以前の習慣が戻りつつあります。そして、聖堂の修復も終了しました。

5月28日の聖霊降臨の祝日には、ミサ後、教会ホールで初めて久しぶりのお祝いのパーティが行われました。堅信のお祝いとフィリピンに旅立たれる西村神父様の送別会を兼ねたものでした。サンドウィッチとソフトドリンク、お菓子の簡素なものでしたが、司教様はじめ神父様たちもとてもうれしそうに信徒の皆さんとお話しておられました。

ロザリオ会もやっとうこうした準備ができるようになりました。また、6月18日には、コロナ禍でできなかった新受洗者の集いも開かれました。こうした中でロザリオ会への入会を希望される方も少しずつ増えてきて、役員一同とても喜んでいきます。詳細が決まり次第お知らせしますが、9月6日には逗子教会へ、現地集合の巡礼を行います。体力に不安な方には、みんなでサポートして行くようにします。たくさんの方の参加をお待ちしております。まだまだいろいろな計画があります。皆さんと協力して楽しみながら、さまざまな催し、奉仕に励みたいと望んでいます。聖霊降臨のパーティの時、司教様はいつもロザリオ会の方々のためにお祈りしていますよとってくださいました。うれしいですね。

(ロザリオ会 広報 山本 紀志子)

2023年6月度教会委員会議事要約

日時：2023年6月11日(日) 13:00～15:25

場所：司祭・信徒館1階「松・竹」

議事内容(議事進行：小倉委員長)

1 主な審議確認検討事案 ※順不同

(1) 新受洗者・転入者・改宗者歓迎会について

- 6月18日(日)11時半のミサ後、教会ホールで新受洗者・転入者・改宗者の歓迎会を開催。
- 参加者には軽食と飲料を用意。

【決定事項】

- ・承認する。
- (2) 今後の聖堂コンサートについて
- コンサートをさせてほしいという依頼が来た時の判断基準について確認したい。

【決定事項】

- ・申し込みの都度、教会委員会で審議を行うこととする。
- (3) ミニ福祉イベントについて
- 今年度、ミニ福祉イベントを7月23日(日)に予定している。
 - 簡単なフリーマーケットを想定し、7月23日(日)、11月26日(日)さらにもう一度くらいの開催を計画。

【決定事項】

- ・承認する。
- (4) 寿夏祭りでのカレー炊き出しについて
- 準備日が8月11日(金・祝)となるため、炊き出しは8月11日(金)午前中を予定。
 - ボランティアの募集は、6月24日(土)25日(日)のミサ時にお知らせする。
 - 横浜雙葉学園の生徒が、この活動に興味を持っている。できればチラシなどを作って学校に持っていきたい。

【決定事項】

- ・承認する
- (5) 子どもミサの歌について
- ボーイやガールの子どもたちにも入ってきてほしいので、唱えた方が親しみやすいと思われる。

【決定事項】

- ・上半期についてミサ曲は唱えることとする。
- (6) 「平和を願うパイプオルガンの響き」について
- 7月30日(日)に開催を希望している。

【決定事項】

- ・承認する。
- (7) 東京女子大学キリスト教センターからの見学要請について
- 9月11日(月)に見学希望。歴史などの解説を

お願いしたい。

【決定事項】

・承認する。

(8) 敬老会について

・敬老会の準備を始めたい。

【決定事項】

・当日の内容なども含め継続審議とする。

(9) ヒマラヤ杉について

・ヒマラヤ杉の上の方の枝が枯れて折れそうになっており、最悪の場合道路側に落下する可能性がある。

【決定事項】

・安全のため業者からの見積もりを取得し進める。

(10) 営繕委員会について

営繕委員会と事務所の間で、意思疎通がうまくいかず曖昧になっている。

【決定事項】

・継続審議。

(11) 教会ホールの厨房について

・厨房の中が散らかり、ヤカンが空焚きとなる非常に危険な状態であった。

【決定事項】

・厨房を利用した方へ嚴重注意を行う。

(12) イベント後のごみの出し方について

・ゴミが分別されずに出されており、事務所の方がゴミを分別し直すということがあった。

【決定事項】

・イベントを実施した方へ嚴重注意を行う。

(13) ロザリオ会ミニバザーについて

・ロザリオ会では、10月くらいに教会ホールで信徒の交流などを目的としたミニバザーを検討。

【決定事項】

・引き続き検討する。

2 今後の活動、報告事項

【聖堂修繕工事完成記念講演会について】

・7月9日（日）13時30分～15時に聖堂で開催。

【横浜教区神奈川第3地区共同宣教司牧委員会大会について】

・7月9日（日）15時から保土ヶ谷教会で行う。

【事務所より】

・駐車場の利用状況把握のために、駐車場中央上部に防犯カメラを設置した。

・今後の結婚式のありかたについて考える2回目の会議を実施。結婚講座の内容などにつき議論した。

【案内係より】

・2月と5月に不審者の侵入事案が発生している。特に5月については泥酔者ということもあり対応には注意が必要。

【堅信式・パーティについて】

・5月28日（日）6人の堅信式。久しぶりに飲食を伴うパーティが行われた。

【ベトナム語ミサについて】

・ベトナム語のミサは、末吉町教会で毎月第4日曜日の17時から行うこととなった。

【ロザリオ会より】

・次回のロザリオ会主催のミサは、7月7日（金）9時30分。

・9月以降は10時からとする。

【福祉委員会より】

・日本語のコーヒーソーシャルを9月くらいから行うことを予定。

・年末にかけて毛糸の帽子の編み手が少ないのでご協力いただきたい。

3 主任司祭から

・Peace be with YOUプロジェクトのTシャツを7月2日（日）に山手教会で販売。

・9月18日（月・祝）19日（火）に教区学連の合宿で司祭・信徒館を使用する。

・平日のミサについては引き続き検討する。

・8月15日（火）の聖母被昇天のミサを小教区で行うのか、教区として行うのかどうか7月の教会委員会で審議する。

4 次回教会委員会

2023年7月2日（日）

13時00分～15時00分終了予定。

（総務担当 宮 裕一）

2023年7月・8月主日ミサの聖歌および奉仕者予定表

	主 日	聖 歌			聖歌隊	時 間	奉 仕 者				備考
		答唱詩編	アレルヤ唱	ミサ曲			オルガン	先 唱	聖書朗読		
7月16日	年間第15主日	典17 ①②③	典269 年間15A	ミサ曲A 典605～9	*	前日pm5:00	太 田	工藤(元)	飯 塚	志 村	
						7:30	渡 邊	末 澤	島田(啓)	仁井田	
						11:30	米 沢	藤原(ま)	大 島	上 田	
23日	年間第16主日	典138 ①②③	典272 年間16A	ミサ曲A 典605～9	*	前日pm5:00	忠 海	田中(麻)	羽 石	阿部(眞)	
						7:30	太 田	亀 井	二 宮	山本(眞)	
						11:30	中 川	村田(義)	中 山	武内(千)	
30日	年間第17主日	典125 ①③④	典269 年間17A	ミサ曲A 典605～9		前日pm5:00	村 松	志 村	柳 川	櫻井(智)	
						7:30	手 塚	時 久	梅田(啓)	早川(眞)	
						11:30	太 田	曾 禰	小松(美)	荻原(恵)	
8月6日	年間第18主日 主の変容	典25 ①②	典266 主の変容	ミサ曲A 典605～9	*	前日pm5:00	藤 沼	竹之内	新井田	島田(節)	
						7:30	渡 邊	石 賀	鈴木(幸)	鈴木(由)	
						11:30	岡 村	山本(紀)	清 水	大 澤	
13日	年間第19主日	典81 ③④⑤	典269 年間19A	ミサ曲A 典605～9	*	前日pm5:00	太 田	齋 藤	小佐井	福田(直)	
						7:30	手 塚	二 宮	東海林(珠)	時 久	
						11:30	佐 藤	遠 藤	石 田	中 野	
15日	聖母の被昇天	典36 ②④	典276 聖母被昇天	ミサ曲A 典605～9		11:30	中 川	曾 禰	未 定	未 定	
20日	年間第20主日	典55 ①②③	典272 年間20A	ミサ曲A 典605～9	*	前日pm5:00	太 田	工藤(元)	飯 塚	志 村	
						7:30	渡 邊	末 澤	石 川	工 藤	
						11:30	中 川	村田(義)	中 川	岩 隈	
27日	年間第21主日	典134 ①②③	典269 年間21A	ミサ曲A 典605～9		前日pm5:00	忠 海	田中(麻)	羽 石	阿部(眞)	
						7:30	太 田	亀 井	古 谷	藤 本	
						11:30	中 川	藤原(ま)	中 山	未 定	

編 集 後 記

カルガモのモモちゃん。小生の家の近くとある民家前に縦1m、横1.5m程度の金網の囲いを作り、その中で1羽のカルガモが長年にわたり飼育されています。金網の柵は大ざっぱなもので上部の蓋は全体の1/3しかなく、2/3は開けっ放しです。付近には猫も多く、ここに引っ越して来たころは、すぐに猫が金網の中に入ってカモは食べられてしまうのではないかと考えていました。ところが、時々猫が金網の蓋の上で居眠りをしており、鴨も猫を全く気にする様子がないことを何回か目撃していました。この鴨は人間が大好きで、付近を人間が通ると、ガーガーと鳴きながら足をバタバタさせて注意を自分の方に向けようとします。あるとき、教会で聖歌隊のミサ奉仕をした帰りに、この家の前に来ると、ご婦人が鴨の世話をしているのに出会いました。ご婦人に鴨を何年ぐらい飼っているのか伺うと、15年くらいとのことでした。鴨を飼育することになったきっかけは、料理屋を経営している長男の友人が鴨料理をするために生きた鴨を買ってきて、その夜、自宅に置いてしまったら情が移って殺すことができなくなり、長男が引き取って来たとのことでした。鴨は引き取って間もないときに近くの公園まで飛んで逃げたそうですが、その後「ここが自分の居場所だ」と覚悟を決めたようで、それ以来、逃げていないとのことでした。鴨は雌で、数年前まで卵を産んでいたそうです。名前はモモ。猫とお友達で、近所の人気者(鳥?)になっているとのことでした。(土方芳人)

☆表紙のカット(山手教会)は、濱尾文郎枢機卿様の「えはがき」です。